

きゅうしゅう・さんらん

吸収・散乱

■ 用語解説 ■

中性子が試料物質に照射されると、試料物質に反応しないで入射角を保ったまま通過する場合、中性子が原子核内に取り込まれ新しい物理現象を引き起こす場合、結晶格子によって回折して入射方向と異なる方向に曲げられる場合の3つの現象が現れる。これらはそれぞれ中性子の透過、中性の吸収、中性の散乱と呼ぶ。このうち吸収と散乱は物質によって一定のパターンがあるのでこれを使って試料の内部構造を測定できる。